

六華会だより



神奈山をバックに 平成20年2月25日

中36回卒松野鋭一さん（初代会長）を中心に「ふるさとのために何か出来ないか」と、昭和49年設立された東京六華会ですが、翌50年から母校・上越市体育協会、その後妙高市体育協会に金メダルを贈呈し、すばらしい成績を収めたスポーツ選手を顕彰してまいりました。本年も5月25日(日)に三者の代表にメダルの贈呈を行いました。



このように、東京六華会は「ふるさとのスポーツ青少年を応援する」を会の理念として34年間の長きにわたり、歴史と伝統を築いてきました。今後もこの会の主旨を尊重し、皆さんのご協力をいただきながらこの事業を続けていく責任を痛感しています。

折から北京オリンピックの成績が連日新聞に、またリアルタイムにテレビで届いている。「調和」「友情」「喜び」がテーマの北京オリンピックでしたが、政治色の強い大会となってしまったのが一寸残念でした。終わってみれば「人民日報」は自画自賛、参加国204、参加選手11,200人、28競技302種目、いずれも新記録とのこと、開会式、閉会式のセレモニーのために動員された大勢の人間にこれまた驚かされた。

中国政府が今回の五輪につき込んだ総経費は3,000億元（4兆8千億円）、いろいろ批判が出たが、この分野での世界で肩を並べることが出来たのであろうか。

母校からのオリンピック参加の記録は、昭和3年第2回サンモリッツ（スイス）オリンピック冬季大会に矢沢（保科）武雄（中32回）、永田実（中31回）の2名が最初である。第3回（昭和7年）レークプラシッド（アメリカ）大会には、矢沢（保科）武雄、上石巖（中32回）が出場している。

昭和11年ベルリンオリンピック大会に曾根道貫（中39回）が体操選手として、夏季大会初の参加が記録されている。

選手としてではなく、それぞれの分野で役員或いは監督として活躍された方々の記録も残っている。

その後平成に入り、小日向謙一（高38回）が平成8年、アトランタオリンピック大会にボート、ダブル・スカルに出場するまで、オリンピック参加の記録はない。彼は卒業後新潟大学に進み、信濃川での練習が実ったようだ。

現在会としてバックアップしている選手を紹介しよう。大島雄治君（高54回）である。卒業後筑波大学に進み、平成16年、4年次にインカレ十種競技で優勝している。大学院に進み、次回（2012年）ロンドンオリンピックを目標に、練習を積んでいる最中である。



日本のナンバー1は社会人で7,800点、ナンバー2の位置にいる彼のベスト記録は7,500点、今回北京オリンピックチャンピオンの成績は8,791点、世界記録は9,020点。世界最速の男といえば男子100m、十種競技の覇者は陸の王者と言われる。十種競技はそれだけ体力と技術が要求されるスポーツであるためだ。世界の記録にはほど遠いが、彼の競技に対するひた向きの姿勢に頭が下

がる。加油（ジャーヨー）大島。

スポーツを愛する我が東京六華会会員の最大の望みは、“妙高山は岷々として千古の白雪天をつき…” 自慢の校歌を甲子園球場で全国に披露したいことにつきる。いつの日かその時は、東京からの応援団のバスは何台になるのだろうか。

東京六華会も応援を惜しまない野球部の選手諸君、是非我々の望みをかなえて欲しい。加油（ジャーヨー）野球部。

このような“ふるさとの青少年を応援する”東京六華会です。会の主旨に賛同していただき、是非入会いただきたい。お待ち申し上げます（連絡先：岡村成行（高6回）、樫野利介（高6回））。

—— 主な活動状況 ——

① 第34回総会

- 日時 平成19年12月6日(木)
- 出席 会員34名、来賓6名
高58回 竹内 智大
 (埼玉大野球部)
高59回 増田 健
 (順天堂大野球部)
高59回 関 亮佑
 (早稲田大野球部)
3選手を迎え、激励を行った。

② スキーツアー

- 湯沢：平成20年1月16日(水)～18日(金)
参加12名
- 赤倉：平成20年2月24日(日)～26日(火)
参加29名

③ メダル贈呈

平成20年5月25日(日)、於：やすね
伊崎会長、幹事長岡村が出席

幹事長 岡村 成行（高6回）